

平成23年産「い」の作付面積、収穫量 及び畳表生産量（主産県）

- 収穫量は、前年産に比べて16%減少 -

【調査結果の概要】

1 作付面積

主産県（福岡県及び熊本県）における作付面積は838haで、前年産に比べて61ha（7%）減少した。

これは、畳表の需要の減少等により、他作物への転換等があったためである。

2 10 a 当たり収量

10 a 当たり収量は1,150kgで、前年産に比べて10%下回った。

これは、1月及び春先の低温等の影響により、生育が抑制されたためである。

3 収穫量

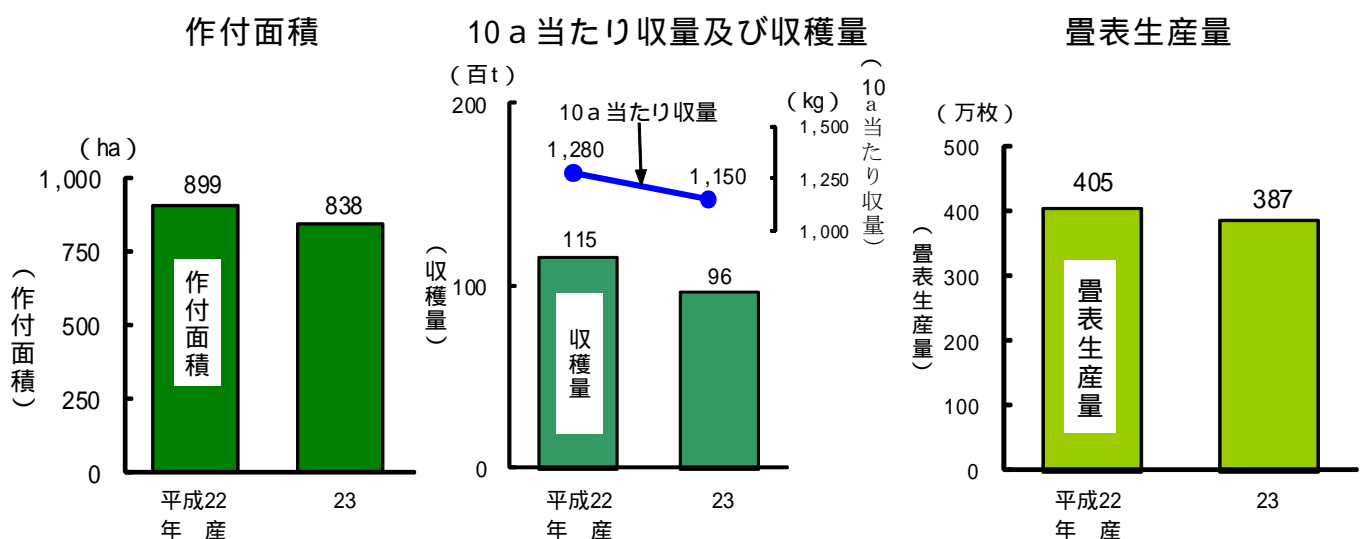
収穫量は9,640 tで、前年産に比べて1,860 t（16%）減少した。

これは、作付面積の減少に加えて、10 a 当たり収量が前年産を下回ったためである。

4 畳表生産量

平成22年7月から23年6月までの畳表生産量は387万枚で、前年に比べて18万枚（4%）減少した。

図 「い」の作付面積、10 a 当たり収量、収穫量及び畳表生産量（主産県）



この統計調査結果で使用している統計表は、政府統計の総合窓口(e-Stat)の「統計データ新着情報」でご覧いただけます。

【 <http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/eStatTopPortal.do> 】

調査結果の利活用

- ・ 秩序ある貿易の促進を目的とした日中農産物貿易協議会におけるいぐさ・畳表の需給動向に関する検討資料
- ・ 「強い農業づくり交付金」等におけるいぐさに関する生産振興を図るための各種事業の資料

累年データ

「い」の作付面積、10a当たり収量、収穫量、い生産農家数、畳表生産農家数及び畳表生産量の推移（主産県）

区分	作付面積	10a当たり収量	収穫量	い生産農家数	畳表生産農家数	畳表生産量
	ha	kg	t	戸	戸	千枚
平成14年産	1,810	1,140	20,700	1,340	1,260	7,990
15	1,870	1,100	20,500	1,330	1,250	7,860
16	1,800	1,150	20,700	1,260	1,180	7,800
17	1,700	1,280	21,800	1,170	1,110	7,820
18	1,370	1,120	15,300	1,030	983	6,880
19	1,110	1,370	15,200	851	810	4,930
20	1,070	1,280	13,700	806	788	4,790
21	1,000	1,430	14,300	767	756	4,320
22	899	1,280	11,500	705	691	4,050
23（概数）	838	1,150	9,640	653	638	3,870

資料：農林水産省統計部『作物統計』

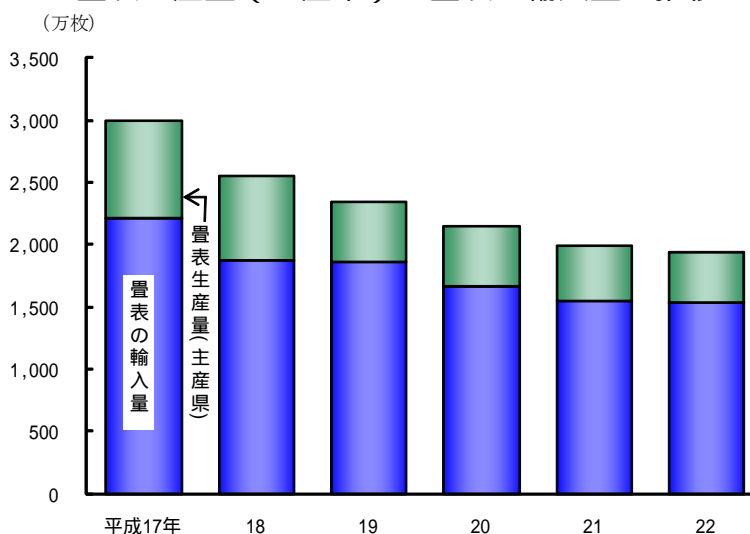
注：1 い生産農家数は、平成23年産の「い」の栽培を行った農家の数である。

2 畳表生産農家数は、各当該年の前年7月から当年6月までに畳表の生産を行った農家の数である。

3 畳表生産量は、各当該年の前年7月から当年6月までに生産されたものである。

関連データ

畳表生産量（主産県）と畳表の輸入量の推移



資料：農林水産省統計部『作物統計』、財務省『貿易統計』

注：輸入量については、財務省『貿易統計』の輸入量（重量）を畳表1枚当たりの平均使用量1.7kgとして枚数に換算した量である。

【統計表】

1 平成23年産「い」の作付面積、10a当たり収量及び収穫量（主産県）

区分	作付面積	10a当たり 収量	収穫量	前年産との比較						(参考)	
				作付面積		10a当たり 収量	収穫量		10a当たり 平均収量	10a当たり 平均収量	
				対差	対比	対比	対差	対比	対比	対比	
	ha	kg	t	ha	%	%	t	%	%	kg	
主産県計	838	1,150	9,640	△ 61	93	90	△ 1,860	84	91	1,270	
福岡	13	1,180	153	△ 4	76	102	△ 45	77	95	1,240	
熊本	825	1,150	9,490	△ 57	94	90	△ 1,810	84	91	1,270	

注：「(参考) 10a 当たり平均収量対比」とは、10a 当たり平均収量（原則として過去7か年のうち、最高及び最低を除いた5か年の平均値）に対する当年産の10a 当たり収量の比率である。

なお、主産県計の10a 当たり平均収量は、各県の10a 当たり平均収量に当年産の作付面積を乗じて求めた平均収穫量を積み上げ、当年産の主産県計作付面積で除して算出している。

2 「い」の生産農家数、畳表生産農家数及び畳表生産量（主産県）

区分	い生産 農家数	畳表生産 農家数	畳表 生産量	前年との比較					
				い生産農家数		畳表生産農家数		畳表生産量	
				対差	対比	対差	対比	対差	対比
	戸	戸	千枚	戸	%	戸	%	千枚	%
主産県計	653	638	3,870	△ 52	93	△ 53	92	△ 180	96
福岡	20	26	83	△ 6	77	△ 6	81	△ 72	54
熊本	633	612	3,790	△ 46	93	△ 47	93	△ 100	97

注：1 い生産農家数は、平成23年産の「い」の栽培を行った農家の数である。

2 畳表生産農家数は、平成22年7月から23年6月までに畳表の生産を行った農家の数である。

3 畳表生産量は、平成22年7月から23年6月までに生産されたものである。

【調査の概要】

1 調査の目的

本調査は、特定作物統計調査の「い」調査として実施したものであり、「い」の生産に関する実態を明らかにすることにより、秩序ある貿易の促進を目的とした日中農産物貿易協議会におけるいぐさ・畳表の需給動向に関する検討資料、「強い農業づくり交付金」等におけるいぐさに関する生産振興を図るための各種事業の資料等を整備することを目的としている。

2 調査の対象

(1) 調査の範囲

福岡県及び熊本県

(2) 調査対象の選定

調査対象作物の集荷を行っている全ての農協等の関係団体とした。(全数調査)

(3) 調査対象数

関係団体数：4団体(回収数4：回収率100%)

巡回・見積り及び情報収集：105市町村

3 調査事項

作付面積、10a当たり収量、収穫量(畳表生産量を含む。)生産農家数(畳表生産農家数を含む。)

4 調査期日

収穫期

5 調査方法

(1) 作付面積調査：関係団体に対する往復郵送調査、職員による巡回・見積り及び情報収集による。

(2) 収穫量調査：関係団体に対する往復郵送調査、職員による巡回・情報収集による。

6 集計方法

関係団体調査結果により算出された作付面積、10a当たり収量、収穫量等を必要に応じて巡回・見積り結果又は巡回・情報収集結果により補完し取りまとめている。

なお、主産県計については、主産県の結果を積み上げ集計している。

7 目標精度

本調査は調査対象県における関係団体への全数調査であり、目標精度は設定していない。

8 統計表の見方等

- (1) 統計数値については、下記の方法によって四捨五入しており、合計と内訳の計が一致しないことがある。

原 数		4 桁 (1,000)	3 桁以下 (100)
四捨五入する桁数(下から)		1 桁	四捨五入しない
例	四捨五入する前(原数)	1,234	123
	四捨五入した数値(統計数値)	1,230	123

- (2) 表中に用いた記号は以下のとおりである。

「 - 」: 負数又は減少したもの

9 用語の解説

- (1) 「い」の生産農家数とは、「い」を生産する全ての農家の数をいう。
- (2) 畳表生産農家数とは、「い」の生産から畳表の生産まで一貫して行っている農家の数をいう。
- (3) 畳表生産量とは、畳表の生産枚数をいう。
なお、23年産の畳表は、主に前年産の「い」を用いて平成22年7月から23年6月までに生産されたものである。

10 その他

この資料の数値は概数である。確定した詳細な数値はホームページに掲載(平成24年6月予定)するとともに、その後刊行する『作物統計』に掲載する。
なお、数値をホームページに掲載した後の正誤情報はホームページでお知らせする。

【ホームページ掲載案内】

各種農林水産統計調査結果は、農林水産省ホームページ中の統計情報でご覧いただけます。

【 <http://www.maff.go.jp/j/tokei/> 】

この結果の分野別分類は「作付面積・生産量、被害、家畜の頭数など」、品目別分類は「工芸農作物（さとうきび、茶など）」に分類しています。

【関連リンク】

農林水産施策関係ページ：農林水産省>組織・政策>大臣官房の部局別トップへ

<http://www.maff.go.jp/j/kanbo/>

農業生産振興関係ページ：農林水産省>組織・政策>生産局の部局別トップへ

<http://www.maff.go.jp/j/seisan/>

問合せ先

本統計調査結果について

農林水産省 大臣官房統計部

生産流通消費統計課 普通作物統計班

電話：(代表) 03-3502-8111 内線3682

(直通) 03-3502-5687

農林水産統計全般について

農林水産省 大臣官房統計部

統計企画管理官 広報普及班

電話：(代表) 03-3502-8111 内線3589

(直通) 03-6744-2037